

Course number		G-LAS12 80053 SJ13					
Course title (and course title in English)		プラットフォーム学セミナー Seminar on Platform Studies		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Informatics Professor, HARADA HIROSHI	
Group		Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)		Statistics, Informatics and Data Science	
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1		Class style Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters 2026・First semester	
Days and periods		Wed.5		Target year Graduate students		Eligible students For all majors	
(Students of Graduate School of Informatics cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
本講義では、社会に遍在する各種情報をデジタルデータ化し、そのデータを広範囲に収集し、ビッグデータと呼ばれる大規模データとして蓄積、それらデータの整理、分析、共有するという情報通信（ICT）技術を利用した“プラットフォーム”に関連するテーマについて、農学、医学、防災の観点からプラットフォーム利用の実際、利活用に関する最新研究動向、プラットフォーム利用企業のケーススタディを行う。また、社会に遍在する各種情報を情報通信デバイスによりクラウドに収集し、そのデータを処理し、利活用する技術の基本技術を習得する。さらに講義を通じて得た情報をもとにグループワークの形で社会課題を解決をするプラットフォームの設計を行う。本科目は主としてプラットフォーム学卓越大学院のプログラム担当教員により行われる。							
[Course objectives]							
農学、医学、防災の観点から情報通信技術を用いたプラットフォーム利用の実際、利活用法に関する理解を深めるとともに自らデータを収集、処理する基礎技術を習得する。							
[Course schedule and contents)]							
1. プラットフォームの概要（1回）：本講義で取り上げるプラットフォームの概要、応用分野について説明する。 2. 農学とプラットフォーム（4回）：農学の観点からプラットフォーム利用の実際、利活用に関する最新研究動向に関するセミナー、プラットフォーム利用企業のケーススタディを行う。 2. 医学とプラットフォーム（2回）：医学の観点からプラットフォーム利用の実際、利活用に関する最新研究動向に関するセミナー、プラットフォーム利用企業のケーススタディを行う。 3. 防災とプラットフォーム（1回）：防災の観点からプラットフォーム利用の実際、利活用に関する最新研究動向に関するセミナー、プラットフォーム利用企業のケーススタディを行う。 4. プラットフォームにおけるデータ収集と現場環境駆動（2回）：サイバー空間上にセンサー、メーター、モニター情報を収集する技術、またサイバー空間上での結果に基づき現場空間を駆動する技術に関するセミナーを行う。 5. プラットフォーム構築ワークショップ（3回）：講義を通じて得た知識をもとに講義を通じて得た情報をもとにグループワークの形で社会課題を解決をするプラットフォームの設計を行うグループワークを行う。 6. 到達度評価 1回（レポート試験）							
Continue to プラットフォーム学セミナー(2)↓↓↓							

プラットフォーム学セミナー(2)
[Course requirements]
「プラットフォーム学展望」を受講していることが望ましい。
[Evaluation methods and policy]
グループワークの成果、学期末に出題するレポート課題により評価する。また、平常点、授業への積極的な参加も評価に用いる。
[Textbooks]
プリントを配布する。
[References, etc.]
(References, etc.) 原田博司 『プラットフォーム学II』 (Kadokawa, 2025) ISBN:9784049112658
[Study outside of class (preparation and review)]
各講義の復習を行い、レポート課題に取り組む。
[Other information (office hours, etc.)]
オフィスアワーはメールのやり取りで随時行う。メールアドレスは授業中に示す。
[Essential courses]